

トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ
PF361

PARMIGIANI
FLEURIER



トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ

PF361

3

各部の説明

1. 時、分、スモールセコンド
2. クロノグラフ針
3. スプリットセコンド針
4. 30 分積算計
5. 12 時間積算計



反時計回り



時計回り

トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ

PF361

5

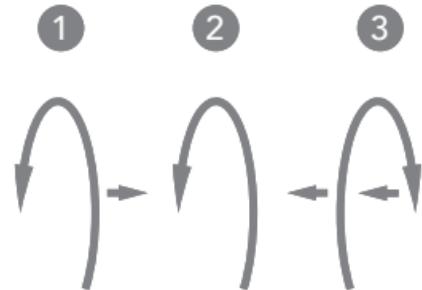
巻き上げ

この時計には機械式手巻きムーブメントが搭載されています。ゼンマイは毎日、同じ時間に(できれば午前中に)完全に巻き上げてください。これを行うには:

1. リューズを反時計回りに回して緩め、ねじ込まれていない状態にします。
2. 巻き止まるまでリューズを時計回りに回し、完全に巻き上げたら、それ以上無理にリューズを回さないでください。
3. リューズをケースに押し込んで締め直します。

リューズによる巻き上げは、いつでも行うことができます。

完全に巻き上げると、65 時間のパワーリザーブが蓄えられます。クロノグラフ機能を頻繁に使用することで、パワーリザーブに影響が及ぶ場合があります。



反時計回り 時計回り

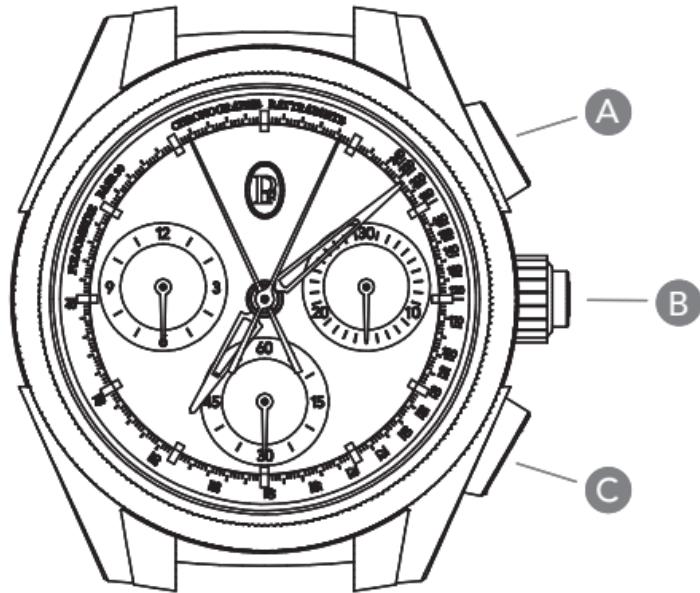
トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ

PF361

7

時刻の調整

1. リューズを緩め、1段引き出します。
2. リューズを時計回りに回して希望の時刻に合わせます。
3. リューズを元の位置に戻し、ケースに押し込んで締め直します。



トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ

PF361

9

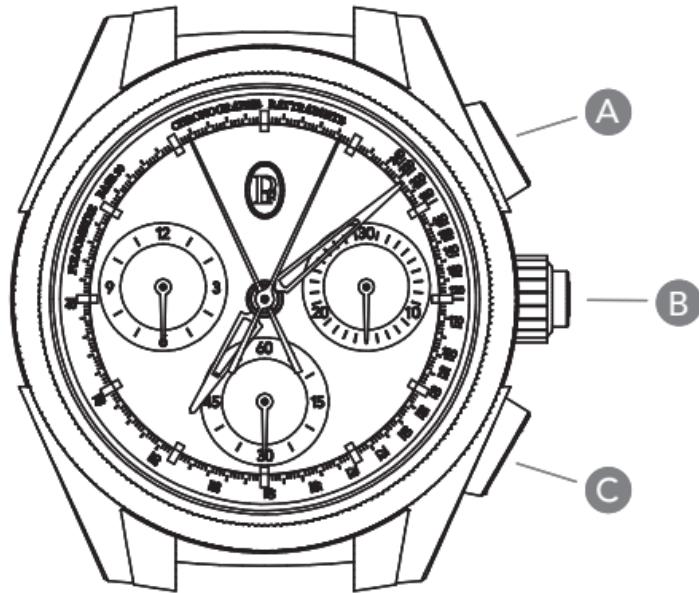
スプリットセコンドクロノグラフ機能

プッシュボタンの説明

- A. スタート／ストップボタン
- B. スプリットセコンドボタン
- C. リセット

二本のクロノグラフ針のスタートとストップは、プッシュボタン A を続けて押して操作します。クロノグラフをストップさせずに中間時間を表示させる場合は、プッシュボタン B を押します。するとスプリットセコンド針だけがストップします。プッシュボタン B をもう一度押すと、スプリットセコンド針が時間計測開始からの経過時間を計測しているクロノグラフ針に追いつきます。プッシュボタン B をさらにもう一度押すと、二番目の中間時間を計測することができます。

クロノグラフ機能を頻繁に使用することで、パワーリザーブに影響が及ぶ場合があります。



トンダ PF スプリットセコンドクロノグラフ

PF361

11

スタート/ストップ

1. プッシュボタン A を一度押すと、クロノグラフ針とスプリットセコンド針がスタートします。
2. プッシュボタン B を一度押すと、スプリットセコンド針がストップします。
3. プッシュボタン B をもう一度押すと、スプリットセコンド針がクロノグラフ針に追いつきます。
4. プッシュボタン A をもう一度押すと、クロノグラフがストップします。
5. プッシュボタン C を 1 秒間押すと、クロノグラフ針、スプリットセコンド針、カウンター針がゼロに戻ってリセットされます。

ご注意:スプリットセコンド針がクロノグラフ針に重なっていないときはリセットの操作を行わないでください。そのように操作すると、スプリットセコンド針は中間時間の位置に留まつたままになりますので、プッシュボタン B を押してスプリットセコンド針をリセットする必要があります。

PARMIGIANI.COM

